



各 位

平成 27 年 12 月 18 日

会 社 名 株式会社 SOL Holdings
代 表 者 名 代表取締役社長 赤尾 伸悟
(JASDAQコード・6636)
問 合 せ 先 取締役管理部長 中原 麗
電 話 03 - 3449 - 3939

第三者割当による第6回新株予約権発行により調達した資金割当の変更に関するお知らせ

当社が、平成 27 年 9 月 18 日に公表しました「第三者割当による第6回新株予約権発行に関するお知らせ」にて公表しましたウエディング・レストラン事業に関する調達資金につきまして、調達資金の割当に変更が生じたため、本日開催の取締役会にて下記のとおり調達資金の割当配分の変更を決議しましたのでお知らせいたします。

【変更前】

資金使途	割当金額
運転資金	<u>24,000,000 円</u>
未払金精算	38,000,000 円
修繕改善費	32,000,000 円
原状回復費	<u>70,000,000 円</u>
新規店舗出店費	16,000,000 円
合計	180,000,000 円

【変更後】

資金使途	割当金額
運転資金	<u>69,500,000 円</u>
未払金精算	38,000,000 円
修繕改善費	32,000,000 円
原状回復費	<u>24,500,000 円</u>
新規店舗出店費	16,000,000 円
合計	180,000,000 円

(注) 変更箇所は下線を付してあります。

変更理由

当社が平成 27 年 9 月 18 日に公表いたしました「第三者割当による第 6 回新株予約権発行に関するお知らせ」にて調達した資金から 180 百万円をレストラン・ウェディング事業に充当する内容としており、180 百万円から 70 百万円を退去予定の賃貸借物件の原状回復費用として割当てする計画でした。

今回、賃貸借契約期間満了及び、賃貸借ビル一斉改修により退去を予定しています店舗が 3 店舗あります。本来であれば退去時に原状回復を終了させ明渡しを行うものですが、賃貸人との交渉により 2 店舗につきましては、賃貸人へ差入れている保証金（敷金）から原状回復費を充当することとなりました。これを受け当社は、平成 27 年 11 月 12 日付「平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」のセグメント業績（注 1）にて開示のとおり営業損失 127 百万円計上と依然厳しい運営が続いておりますレストラン・ウェディング事業につきまして、本来であれば返戻保証金（敷金）により新規出店を計画しておりました。しかしながら、上述のとおり既存店舗であるイタリアンレストランの売上減少に伴い仕入費、人件費、賃料等の固定費の負担が大きくなったこと、さらに港区赤坂で展開しています結婚披露宴業務につきましても同一区内における競合他社との差別化を図るため、平日割引を行う等の施策を図っておりますが、現状の成約件数（施工済含）57 件と依然厳しい状況であります。また、今回閉店予定の横浜店、恵比寿店、渋谷店は慢性的な赤字店舗であり、12 月以降につきましては、順次閉店する赤字店舗の負担が減少する一方、閉店に伴う全体的な売上も減少し、閉鎖店舗の人員を他店舗へ振替えるためキャッシュフローは一時的に悪化するものと考えています。このような現状を鑑み原状回復費用 70 百万円の予算から 45.5 百万円を既存店舗の運転資金として振替させていただくものです。これにより、当初 3 店舗閉鎖後、新たに 3 店舗の新規出店を予定していましたが、新規出店費用を運転資金に振替えることにより、現時点におきまして新規出店予定は 1 店舗の計画となります。（注 2）

なお、賃貸借契約期間満了により退去予定の残り 1 店舗（渋谷店）につきましては、外部コンサルタント会社と協議のうえ、コンセプト変更を検討しております。また、当該店舗の賃貸人に対しコンセプト変更後の店舗展開の説明を行い再契約の交渉を開始しており、コンセプト変更により再契約を行った場合および今後更なる資金使途変更、割当変更が生じた場合は速やかに開示させていただきます。

（注 1） レストラン・ウェディング事業の詳細につきましては、当社が平成 27 年 11 月 12 日に公表しました『平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）』をご参照願います。

（注 2） 調達資金の割当に関する詳細につきましては、当社が平成 27 年 9 月 18 日に公表しました『第三者割当による第 6 回新株予約権発行のお知らせ』をご参照願います。

以 上